

平成 29 年度 ESD 活動支援センター事業計画概要（案）

ESD 活動支援センターは（以下「全国センター」）、持続可能な社会の実現に向け、ESD に関わる多様な主体が、地域での取組を核としつつ、様々なレベルで分野横断的に協働・連携して ESD をより効果的に推進するための全国的なハブ機能の役割を担うべく、地方 ESD 活動支援センター（仮称）（以下「地方センター」）、地域 ESD 活動推進拠点（以下、「地域 ESD 拠点」）と連携して諸事業を行う目的をもって設立された。

平成 27 年 12 月から全国センター開設準備のための業務がスタートし、平成 28 年 4 月 22 日に東京都渋谷区に開設。平成 28 年度は【表 1】のとおり、ESD 推進ネットワークにおける全国センターの役割に沿って、主に情報発信とネットワーク形成の基盤整備に取り組んできた。

平成 29 年度は全国 8 ブロックにおいて、7 月を目途に地方センターが開設される。そして、秋以降は地域 ESD 拠点の登録を開始、ネットワークがいよいよ本格的に動き始める。全国センターはこれらの動きを支え、地方センターと連携・協力し、ESD 推進ネットワークを発展させるとともに、ESD の推進に関心を持つ全国レベルの組織・団体（協力団体）との協力関係を具体化していくべく、以下の重点事業に取り組む。

平成 29 年度重点事業

1. 地方センターとの連携・協力体制の形成

- ・地方センターの開設及び地方センターによる地域 ESD 拠点の創出・形成のための基盤をつくる。（地方センターのウェブサイト、登録の仕組みなど）
- ・地方センターと協力してネットワーク形成を円滑かつ効果的に進めるため、ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会を開催する。

2. 全国レベルの組織・団体との協力関係の強化に向けた場づくり

- ・ESD の推進に関心を持つ全国レベルの団体（協力団体）との協力関係を強化するため、ESD の最新動向や取組みの共有、連携・協働の可能性検討にむけた意見交換を行う。

なお、全国センターが業務を実施するにあたっては、以下の点を大切に進めていく。

(1) 地方におけるネットワーク形成は、地域 ESD 拠点の活動が活性化することを第一優先

- とし、ネットワークの形成プロセスや支援方法は地方センターが地域の特性に沿ってそれぞれに形成することを尊重する
- (2) 全国センターはネットワーク形成において、全国で共通して取組む必要がある事項を整理・提供するとともに、地方センターでは担えない支援を行う
 - (3) 全国センターが担うべき主な役割は以下の3点
 - ①環境・開発・人権・平和・防災・消費・文化などの多様なテーマにおいて、全国レベルの多様な主体をつなぐ
 - ②ESDを推進する人・組織・プログラムなどを、地方の広域ブロックをこえてつなぐ
 - ③国際機関や海外の先進地域など、ESDに関する国際的な情報をつなぐ
 - (4) さらに全国センターは、地域のニーズをふまえ、ESDを推進するための事業や政策を検討・企画・実施する

【表 1】平成 28 年度事業一覧（全国センターの役割と機能による整理）

	多様なテーマをつなぐ	地域をこえてつなぐ	国際的な情報をつなぐ
情報の取集・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口・パンフレット・ウェブサイト・SNS・アニュアルレポート 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・エコライフフェア、グリーンチャレンジデーにおける ESD ブースを企画・運営 ・協力団体発行のニュースレター等への寄稿 		<ul style="list-style-type: none"> ・国際フォーラム（ユネスコ/日本 ESD 賞海外受賞者の実践に学ぶ）
支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・企画運営委員会 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・可視化ツールの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方センター準備のための意見交換会 ・講師派遣 ・関係者定例打合せ事務局 ・地方における ESD 関係団体リスト作成 	
学びあいの促進 ネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> ・全国フォーラム 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域 ESD 拠点の形成支援（ESD 催事への共催、後援、職員派遣） ・協力団体開催の ESD 関連セミナー、研修等での講演、講師派遣 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニング式典 ・可視化ツールの開発 ・全国レベルのネットワーク団体、関係省庁への協力依頼 		
人材育成		<ul style="list-style-type: none"> ・若者世代による情報発信 	

【表 2】平成 29 年度事業一覧（全国センターの役割と機能による整理）

★は平成 29 年度新規業務

	多様なテーマをつなぐ	地域をこえてつなぐ	国際的な情報をつなぐ
情報の取集・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口 ・パンフレット ・ウェブサイト・SNS ・アニュアルレポート 		
支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・企画運営委員会 ・可視化ツールの地方への展開検討 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・全国・地方連絡会 ・職員派遣 ・関係者定例打合せ事務局 ★地域 ESD 拠点登録業務 ★地域 ESD 拠点年次アンケート 	
学びあいの促進 ネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> ・全国フォーラム 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域 ESD 拠点の形成支援（ESD 催事への共催、後援、職員派遣） ・協力団体開催の ESD 関連セミナー、研修等での講演、講師派遣 		
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ★ESD に関心を持つ全国組織との協力関係強化のための場の形成 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・若者世代による情報発信 ★ユースの人材育成事業に関する取り組みの検討 	

平成 29 年度事業概要（案）

以下に示す事業概要（案）に対する指導・助言を踏まえ、各方面と調整のうえ、事業計画を作成する。

1. 相談窓口設置

ESD 活動実践者・実践団体等の、訪問、電話、メールでの相談や講師紹介を含む支援の要請に対し、対応する。ウェブサイトにも問い合わせ書式を用意する。

必要に応じて地方環境パートナーシップオフィス（EPO）、地方 ESD 活動支援センター（以下「地方センター」）設立後は、地方センターと連携して対応する。

月曜日から金曜日の 10 時から 18 時までを相談・支援の窓口として開設する。

（土・日・祝日、12 月 29 日から 1 月 3 日は閉館）

2. ESD 活動支援企画運営委員会

学識経験者、自治体・NGO/NPO、企業、教育機関等の ESD 関係者 15 名程度からなる ESD 活動支援企画運営委員会の事務局を務める。

- 第 1 回企画運営委員会（5 月～6 月予定）
議題案：地方センター設置準備状況共有、平成 28 年度事業評価
平成 29 年度主要企画への助言（全国フォーラム等）等
- 第 2 回企画運営委員会（1～2 月予定）
議題案：地方センター及び地域 ESD 拠点状況共有、次年度事業案への指導・助言

3. ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会

平成 29 年度 7 月を目処に開設される地方センター（設置前は EPO）との実務上の連絡調整及び ESD 推進ネットワーク全体に関わる必要事項の ESD 活動支援センター（全国・地方）案を決定する場として設定する。

- 第 1 回連絡会（4 月予定）
議題案：地方センター設置準備状況共有、地域 ESD 拠点関係（地域 ESD 拠点年次アンケート、手続等）、年間日程調整（全国フォーラム含む）等
- 第 2 回連絡会（10 月頃予定）
議題案：地方センター状況共有、地域 ESD 拠点関係（地域 ESD 拠点年次アンケート、手続等）、次年度事業案等
- 第 3 回連絡会（1～2 月頃予定）
議題案：地方センター状況共有、地域 ESD 拠点形成状況共有、次年度事業案等

4. 情報収集・発信

ESD 活動実践者等に対し、国内外の ESD 活動に関する情報を収集し発信する。

(1) パンフレット制作

平成 28 年度に作成したパンフレットを地方センター設置等の情報を加えて改訂する。

パンフレットは、ESD 活動支援センター（以下「全国センター」）が活用するとともに、地方センターが主要なステークホルダーに配布する。地方センターには必要に応じて印刷用のデータを提供する。

(2) ウェブサイト

①全国センターウェブサイト

全国レベルのネットワーク組織や関係省庁の関連組織等の協力を得て、ESD の実践や推進に役立つ情報の収集と発信を行う。

- ・新着情報（運用継続）
- ・活動支援センターについて（更新）
- ・公募情報（アワード・表彰、研修・交流）（運用継続）
- ・#（ハッシュタグ）ESD ワカモノ（運用継続）
- ・海外の動き（新規）
- ・教材・資料（新規：既存の教材データベースへのリンク集）
- ・地方センターページ（新規）
- ・地域 ESD 活動推進拠点（以下「地域 ESD 拠点」）ページ（新規）

②SNS

平成 28 年度に開設した、Facebook、twitter の運用を継続する。

(3) 若者世代による情報発信

ESD のユースへの普及と、ユースのエンパワメントを目的として H28 年度に公募し採択した社会人ユース ESD レポーター（9 名）による活動を継続する。レポーターは自分の地域における ESD の取組に触れ、自らの視点で地域の ESD について執筆したレポートをセンターのウェブサイト「#ESD ワカモノ」で発信する。

5. ESD 推進ネットワーク構築

(1) ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2017

ESD 推進ネットワーク全国フォーラム（以下「全国フォーラム」）は、原則毎年 1 回、ネットワークの主たるステークホルダーが一堂に集い、ネットワーク形成の状況を共有するとともに、ネットワークが成長するための機会として開催する。

● 目的

ESD 推進ネットワークと全国センター、地方センターの理解を広めるとともに、分野、セクターを越えて多様な主体が連携・協働して ESD を推進（質的向上・量的拡大）するために、お互いに面識をつくり／深めあい、実践例をもとに学び合い ESD 推進の方策について意見交換を行い、協働の機会をつくることを目的とする。

● 参加者 ESD 推進者を中心に 150 名程度

● 時期・期間 11 月～12 月初めの 2 日間

（初日（金）午後スタート、2 日目（土）早い午後終了）

● 内容 グループディスカッションを含み、以下のセッションを設ける。

- ・ ESD 推進ネットワークの理解を深めるためのセッション
- ・ 全国各地の実践例をもとに学び合いを可能とするセッション
- ・ ネットワークを促進する意見交換及びネットワーク機会となるセッション
- ・ ESD 推進ネットワークとして ESD を広める方法、ESD を深める方法について情報と意見交換のためのセッション

● 開催前日（木）にあらかじめ登録した希望者対象に現場視察プログラムを実施する。

(2) 地域 ESD 拠点の形成支援

①共催・後援・職員派遣

全国各地で開催される ESD 関連催事について、地方センターとともに催事を共催または後援することにより、催事に参加し ESD 活動支援センター及びネットワークの存在及び全国センター、地方センターが行い得る支援内容の周知に努める。

②地域 ESD 拠点登録業務

ESD 推進ネットワークを ESD 活動支援センター（全国・地方）と連携して牽引する組織・機関を地域 ESD 拠点としてリストに登録する手続きを、地方センターと連携して行う。

③地域 ESD 拠点への年次アンケート実施

ESD 推進ネットワーク推進に活かすため、リストに掲載された全ての地域 ESD 拠点を対象とする年次アンケートを実施する。アンケート結果は地方センターと共有するとともに、結果を取りまとめて公開する。

年次アンケートの内容

- ・登録情報の更新に関すること
- ・当該年度の支援実績に関すること
- ・全国センター・地方センターへの要望
- ・その他

(3) ESD 推進ネットワーク形成に係る可視化ツール

平成 28 年度から平成 31 年度までの ESD 推進ネットワークの形成を「可視化」するための参加型ツール（以下、「可視化ツール」）を作成し、運用する。

平成 28 年度にネットワーク可視化タスクフォース（以下「可視化 TF」）によって作成された全国レベルのネットワークのための可視化ツールにもとに、地方センター、地域 ESD 拠点を念頭においた広域ブロックでの活用について可視化 TF による検討を行う。

6. アニュアルレポート

ESD 活動支援センターの平成 29 年度の活動をまとめた年次報告書（アニュアルレポート）を作成し、ESD 推進ネットワークの形成に資するために配布する。

7. 活動の更なる発展に向けた取組み

(1) 全国レベルの組織・団体との協力関係の具体化に向けた場づくり

ESD の推進に関心を持つ全国レベルの団体（協力団体）との協力関係を具体化するため、ESD の最新動向や参加団体の取組みの共有、連携・協働の可能性検討にむけた交流の場を設ける。

(2) ユースの人材育成事業に関する取組みの検討

現在多様な主体により実施されている ESD 分野におけるユースの育成事業の現状を関係者と共有し、ユースへの取組みの全体像を描き、今後必要となる取組みを検討し、その実施に向けた準備活動を行う。